

令和6年度 第1回 学校運営協議会議事録

1 期 日 令和6年6月26日 15:00~16:13

2 場 所 金ヶ崎高等学校 会議室

3 出席者（敬称略）

小澤 賢 鈴木 知里 小原 明男 大森 啓睦 佐藤 和重 小原 拓也

小山 智弘 有住 龍星

三森 健 佐々木順一 佐々木健一 後藤 裕介 菅野 由香 千葉 一弘（書記）

4 運営協議会次第

（1）開会のことば

（2）校長あいさつ

（3）協議会委員自己紹介

（4）協議

（5）意見交換

（6）その他

（7）閉会のことば

5 協議の概要

■学校運営協議会制度等について →副校長より概要説明。

■会長・副会長選出

会 長 小澤 賢 様（昨年度より継続）

副会長 佐藤 和重 様（及川様退任による新任）

■学校経営方針・学校経営計画説明

- ・重点目標に「カ 生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶する体制・風土を構築」を追加。
- ・「エ 広報活動等による社会に開かれた教育課程の実現」「学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止」については、達成指標を上げた。Note の活用、オンラインによるこころの相談室、岩手モデルの発足に合わせている。

【委員】魅力化協働パートナーにある「合同会社いと・をかし」は活動を止めているのではないか。確認してほしい。

【委員】こころの相談室について。生徒は100%スマホを持っているのか？

→持っていない生徒はいないと思う。

→【委員】学校としての携帯端末利用のルールは決めているのか？

→学校活動の中では、マナーを守ってスマホを使ってよいものとしている。積極的に使いながらマナーを学んでいく。昨年度は授業の直前まで利用している生徒はいたが少なくなっている。

→【委員】Wi-fiの整備状況はどうなっているのか？

→昨年度まではスマホもWi-fiに接続することができていたが、県の方針で利用できなくなっている。タブレットや学校からの貸出端末は接続してよいことになっている。モバイルWi-fiも1台ある。必要な場合は、そちらを使って接続している。

■学校概況説明（キャリア形成等）

- ・例年医療系の専門学校希望者がいるが、昨年度はいなかった。
- ・進学率等はほぼ例年並み。
- ・ここ数年は大学の国公立入学者はほぼ推薦であったが、岩手県立大ソフトウェア情報学部と釧路公立大は一般入試で合格できた。3月の最後まで頑張れた学年であった。
- ・総探の時間の計画について、9月に総探中間発表、2月に最終発表の予定である。

■高校魅力化推進への取組について（魅力化コーディネーター活動報告）

【委員】ボランティア等への自分から立候補して参加しているのか。

→全体に連絡して希望者を募っている。希望した生徒から参加者が増えていたりもしている。ボランティアだけでなく、出店を運営していることもあるため、出店するために関係者との間に入りしてサポートをしている。

→【委員】自主的にそのような活動をしているのはよい。

【委員】してみたいフェスを見に行った。地域の人の目もそこに向かう。人と関わる機会を持ってもらうとよいなと思い、見ていた。

【委員】「eDAY」に娘と一緒に参加した。普段、高校生と関わるのがなく、とても楽しかったようだ。いい経験ができたと思っている。地元でこのような小中学生と高校生とが関われる機会があればよいと思う。社協でも子ども食堂やっているが、ボランティア不足である。今年度から、居場所づくりにもなっている。人手が欲しいが、地域の協力を得られない。高校生に食事ができるまで子供たちと話したり、勉強をみたりお手伝いをしてもらえるとありがたい。

【委員】いろいろなことにタッグを組んでやっていることが分かった。「こういうことをやっている」ということの伝え方も考えていきたい。

■その他

【委員】生徒数の減少について。今年度入学生は21人であったが、どのくらい少ないものか？

→45名（現2年）、49名（現3年）、33名（卒業生）と上がり調子であった。今年度は北上方面からの入学生が0名だったので登校のための足の問題があるのではないかと。胆江地区の他の学校への流出も多い。また、私立学校の魅力もあるのかもしれない。私立学校進学者への金銭的な支援も増えてきている。

→【委員】来年度の入学生も気になるが、何か対策があるか？

→本校は、他の1町1校の学校とは状況が異なり、町との連携が難しい。ボトムアップで、生徒たちの探究的な学び等で成長した結果を感じていただいたり、ボランティア活動等に積極的に参加していることなどを伝えたりして、金高の魅力が中学生に浸透するようになればよいと考えている。

→【委員】例えば、何かの教科に特化した授業ができる、何かの研修に参加できる、という他の高校にないものがあれば、興味を持ってくれる人が増えるかもしれない。

【委員】4号線の拡幅工事、ルートイン等の工事で飲食店も増えるかもしれない。金ケ崎でもホットな地域である。学習環境の悪化が懸念される。どのように地域が変化していくのかを行政と連携して把握していく必要があるのではないかと。学校として変わっていく地域の変化を敏感に取り入れ、協議会でもアンテナを出していかないといけない。

【委員】町からの学習等に関する援助はあるのか。

→英検受験料の補助がある。

■意見交換

【委員】進路指導に関する説明で、「課題を生徒に合わせて」ということがあったが、みんな一律でなく、2種類・3種類の課題を出しているのか？

→教科担任の方針による。1つの課題で個人の能力に応じて部分的に課したりしている。人数が少ないからこそ、個々に合わせた課題ができれば。能力がある生徒を伸ばすこともできる。

【委員】中学校も町教委との折衝に困り感を抱えている。金ケ崎中から金ケ崎高への進学者数が半減している。学校の中で、高校と一緒にできないことがないか、話をしている。生徒の意識が、自然に金高に向かうようになればと思う。図書ボランティアや部活動等で高校生と接点を作ることができればと思う。

【魅力化コーディネーター】ブリティッシュヒルズ語学研修に参加した生徒は、学習へのモチベーションもあがり、英語も得意になったという感想がある。今後も続けて行ってほしい。

→【委員】この研修については中学生も知っているのか？

→【委員】恐らく知らないであろう。今年度、金ケ崎町の海外派遣事業が復活する。6名派遣予定である。

→【委員】英語に特化するというのはアピールしていくのはよいと思う。

→中学校での高校説明会等でアピールしていく。

6 次回開催予定

- ・第2回協議会・・・9月28日の課題研究中間発表会の午後を予定。

以上